

教育理念と教育目的

メディア社会学科の教育理念は、メディア環境の変化に広い視野で即応できる多角的思考と先見性をもった人材を育成することである。このために、インターネットの普及やデジタル化の進展に伴うメディア・コンテンツの変容や、新たなコミュニケーション形態の出現など、様々な現象を理解するための理論や研究方法と、新たなメディア環境の構築に参加するための技法を体系的に習得するためのカリキュラムを設置している。

メディア社会学科では、メディア現象とメディア環境に対するアプローチを表現・分析・設計の3つに分け、対応するコースをカリキュラムに設置している。各コースは、それぞれのアプローチに依拠して研究や技術の実践を行うための科目のまとめ（モジュール）によって構成されている。モジュールは、対象領域に関する理論・技法・実践に対応する3科目でそれぞれ構成されており、体系的に理解を深めることができる。メディア社会学科カリキュラムの全体を通して、技法を実践する能力を修得するための実習科目が多く設置されているので、意欲的に取り組んでほしい。

ディプロマ・ポリシー（学部および学科）

社会学部では「学士（社会学）」の授与に際して、所定の単位の修得と、学部および学科が定める能力の修得を要求している。学科にかかわらず要求されるのは以下の能力である。

1. 社会学などの社会諸科学を中心とした学際的な学びによって、社会現象に関する問いを立てることができる。
2. データや資料の分析によって問いに対する答えを見出すことができる。
3. 問題解決の方法を構想することができる。
4. それらを人々にわかりやすく伝える手法を駆使することができる。

メディア社会学科では、学部が指定する上記の要件に加えて、以下の能力を修得した学生に対して「学士（社会学）」を授与する。

1. メディアとそれを取り巻く環境を捉えるための関連諸科学の知識を身につけている。
2. メディアと社会の関係を、メディア研究の手法によって分析できる。
3. 最新のメディア技術を利用して、社会的諸課題の解決に寄与するメディアの表現と設計ができる。

卒業要件

表 3-1 メディア社会学科卒業要件

区分・科目群			卒業所要単位	
総合科目	基礎演習		選択	
	視野形成科目		B 群から選択必修 4 単位以上	
	情報教育基礎		選択	
	保健体育科目	スポーツ総合 1	必修 2 単位	
		スポーツ総合 2	選択	
	外国語	Basic English 1・2		必修 4 単位 (留学生以外)
諸外国語初級 A・B		必修 4 単位 (留学生以外)		
日本語 1～3		◆留学生対象◆ 必修 6 単位		
専門科目	学科専門科目	入門科目		選択必修 6 単位以上
		基礎科目	A 群	選択必修 4 単位以上
			B 群	選択必修 12 単位以上
	展開科目		選択	
	コース専門科目	メディア表現コース		選択必修 (1つのコースを選択) 18 単位以上
		メディア分析コース		
		メディア設計コース		
演習		選択		
外国語教育プログラム	Advanced English Program ドイツ語中級プログラム フランス語中級プログラム 中国語中級プログラム		選択	
	諸外国語選択科目			
自由選択科目				

124 単位以上

74 単位以上

注意しよう！

- ◆「入門科目」の卒業所要単位 6 単位は、2 年次までに単位修得しなければならない (3 年次への進級要件)。
- ◆「学科共通基礎科目」の卒業所要単位 12 単位のうち、4 単位は A 群の科目から単位修得しなければならない。
- ◆コース選択について
実習的な性格を持った「実践」科目の履修機会を保障するため、メディア社会学科カリキュラムに設置されたコースには収容上限 (各コースメディア社会学科 1 年次在籍者の 40%) が設けられている。上限を超えたコースでは、1 年次 GPA による選抜を実施する。
1 年次秋学期に社会学部事務課へ提出する「コース選択希望登録票」によって、希望コースを登録する。「コース選択希望登録票」の提出に先立ち、「入門科目」等でコース選択のためのガイダンスを行うので、授業での案内や掲示に十分注意すること。なお、メディア社会学科では、原則としてコース変更を認めていない。
- ◆コース専門科目のモジュールについて
選択したコースの専門科目のうち「理論」「技法」科目を 2 年次以降に履修し、3 年次以降には選択したコースの「実践」科目を履修する。卒業のためには、選択したコースの専門科目から 18 単位 (9 科目) 以上の修得が必要となるので注意すること。
- ◆「実践」科目
コース専門科目の「実践」科目は、少人数による教育を前提としているので、履修登録に先立ち、クラスサイズを適正化するための調整を実施することがある。調整の実施時期は、2 年次の成績発表から授業開始時までの間に設定し、掲示などにより告知する。具体的な調整方法についても、掲示などで告知するので十分に注意すること。

入門科目

メディア研究を行うにあたり、基礎となるスキルを身につけるための科目群として「メディア研究法入門」と「メディア社会入門」を配置している。「メディア研究法入門」では、メディアを対象とした調査を行う際に必要となる質的調査、量的調査手法の基礎を学ぶ。「メディア社会入門」では、メディアに関する基礎理論とメディアによって社会課題を解決する「実践知」の基礎的な考えを学ぶ。

授業科目	単位数	履修年次	備考
メディア研究法入門 A	半期2単位	1～4年次	
メディア研究法入門 B	半期2単位	1～4年次	
メディア社会入門 I・II	半期各2単位	1～4年次	

入門科目：履修上の注意

入門科目6単位の修得が、3年次への進級要件である。2年次までに所要単位の修得を終えるよう計画すること。ただし、1年次のうちに4科目すべて（8単位分）修得しておくことが望ましい。

学科共通基礎科目

メディア研究を行うにあたり、理論的・方法論的な基礎を身につけるための科目群として、A群とB群を配置している。A群では、技術、文化、法制度の3つの観点からメディアと社会の関係を総合的に理解することを目指す。B群では、社会学の基礎となる理論、憲法、ミクロ・マクロ経済学を配置し、メディア研究を支える多角的思考と先見性を学ぶ。

	授業科目	単位数	履修年次	備考
A群	メディア社会学基礎 A	半期2単位	1～4年次	
	メディア社会学基礎 B	半期2単位	1～4年次	
	メディア社会学基礎 C	半期2単位	1～4年次	
	メディアと人間 I・II	半期各2単位	1～4年次	
B群	社会学理論 A I・II	半期各2単位	2～4年次	
	社会学理論 B I・II	半期各2単位	2～4年次	
	憲法	半期2単位	2～4年次	
	ミクロ経済学	半期2単位	2～4年次	
	マクロ経済学	半期2単位	2～4年次	
	特殊講義	半期2単位		

学科共通基礎科目：履修上の注意

卒業所要単位として学科共通基礎科目 12 単位を修得しなければならない。ただし、そのうち 4 単位は、A 群の科目から修得しなければならない。

学科共通展開科目

メディア研究を行うために必要な理論や方法論に関する理解をさらに深めるための科目群である。インターネットの普及やデジタル化の進展に伴うメディアコンテンツの変容や、新たなコミュニケーション形態の出現など、様々な現象を理解するために、メディアの思想や法、知的財産権、社会問題、認知科学、公共性と民主主義などのテーマを学ぶ。また、新たなメディア環境の構築に参加するための技法を体系的に習得するために必要となる多様なプログラミング関連の実習、クリエイティブ・ライティング、外書講読といった科目を設置している。

授業科目	単位数	履修年次	備考
メディアの思想	半期2単位	2～4年次	
クリエイティブ・ライティング	半期2単位	2～4年次	
社会問題とメディア	半期2単位	2～4年次	
認知科学	半期2単位	2～4年次	
知的財産権法	半期2単位	2～4年次	
メディア法	半期2単位	2～4年次	
公共性と民主主義Ⅰ・Ⅱ	半期各2単位	2～4年次	
プログラミングと論理的思考	半期2単位	2～4年次	
ウェブ・プログラミングA	半期2単位	2～4年次	
ウェブ・プログラミングB	半期2単位	2～4年次	
システム・プログラミングA	半期2単位	2～4年次	
システム・プログラミングB	半期2単位	2～4年次	
メディアプログラミング実習	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）1A	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）1B	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）2A	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）2B	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）3A	半期2単位	2～4年次	
外書講読（メディア社会学）3B	半期2単位	2～4年次	
特殊講義	半期2単位		

学科共通展開科目：履修上の注意

卒業所要単位として修得しなければならない学科専門科目74単位のうち16単位は、学科共通展開科目から履修することが望ましい。

コース専門科目

メディア社会学科では、同じ領域に関する「理論」「技法」「実践」の組合せを「モジュール」と呼んでいる。ひとつのモジュールは、2年次以降に履修する「理論」「技法」、3年次以降に履修する「実践」を原則として一人の専任教員が担当し、一貫した専門知識を学ぶことができるような科目のまとまりとなっている。メディア社会学科の学生は、ひとつ以上の「モジュール」を順次履修し完成していくことが望まれる。

コース専門科目：履修上の注意

卒業所要単位として、選択したコースから18単位を修得しなければならない。

メディア表現コース

「理論」科目群において映像文化、広告・PR、映像認知、ジャーナリズムの各領域を理解するための理論を学んだ後に、「技法」科目群でそれぞれの領域に関連したコンテンツを制作するために必要な技法を身につける。さらに、「実践」科目群では、上記科目群で学んだ理論と技法をベースにしながら実際にコンテンツを制作し、学生が各領域での表現を行うことができるようにする。

	授業科目	単位数	履修年次	備考
理論	メディア文化論	半期2単位	2～4年次	
技法	映像制作技法	半期2単位	2～4年次	
実践	映像制作実習	半期2単位	3～4年次	
理論	広告・消費文化論	半期2単位	2～4年次	
技法	広告・PR論	半期2単位	2～4年次	
実践	広告制作実習	半期2単位	3～4年次	
理論	情報科学とコミュニケーション	半期2単位	2～4年次	
技法	認知映像論	半期2単位	2～4年次	
実践	物語シミュレーション	半期2単位	3～4年次	
理論	ジャーナリズムの歴史と思想Ⅰ	半期2単位	2～4年次	
技法	ジャーナリズムの歴史と思想Ⅱ	半期2単位	2～4年次	
実践	ニュース・ライティング	半期2単位	3～4年次	
	メディア社会学特講（表現）	半期2単位	4年次	
	特殊講義	半期2単位		

メディア分析コース

「理論」科目群では、消費者行動、都市空間とデザイン、メディアの歴史、メディアコンテンツといった研究対象の分析を支える理論を学ぶ。「技法」科目群は、それぞれの領域の研究対象を分析するために必要な技法を身につけることを目的としている。「実践」科目群では、理論と技法をベースにしながら実際に各領域でデータ収集と分析に取り組み、調査成果をまとめ上げることを目指す。

	授業科目	単位数	履修年次	備考
理論	消費者行動論	半期2単位	2～4年次	
技法	消費者行動モデリング	半期2単位	2～4年次	
実践	マーケティング実践	半期2単位	3～4年次	
理論	都市空間とデザインⅠ	半期2単位	2～4年次	
技法	都市空間とデザインⅡ	半期2単位	2～4年次	
実践	都市空間分析	半期2単位	3～4年次	
理論	メディアの歴史	半期2単位	2～4年次	
技法	メディア分析技法	半期2単位	2～4年次	
実践	メディア分析実践	半期2単位	3～4年次	
理論	マス・コミュニケーション論	半期2単位	2～4年次	
技法	メディアコンテンツ論	半期2単位	2～4年次	
実践	メディアコンテンツ分析	半期2単位	3～4年次	
	メディア社会学特講（分析）	半期2単位	4年次	
	特殊講義	半期2単位		

メディア設計コース

「理論」科目群では、メディアテクノロジーと社会、社会ネットワーク、デジタル情報環境、ソーシャルメディアに関する理論を学ぶ。「技法」科目群では、それぞれの研究対象を社会に実装していくために必要な知を身につける。「実践」科目群では、それまで学んだ理論と技法をもとに、メディアを主軸に置きながら新しい社会の仕組みを設計していくことはどのように可能なのかを実践を通して学んでいく。

	授業科目	単位数	履修年次	備考
理論	メディアテクノロジーと社会	半期2単位	2～4年次	
技法	メディアテクノロジーと社会分析	半期2単位	2～4年次	
実践	メディアテクノロジーと社会実習	半期2単位	3～4年次	
理論	社会ネットワーク論Ⅰ	半期2単位	2～4年次	
技法	社会ネットワーク論Ⅱ	半期2単位	2～4年次	
実践	意思決定論	半期2単位	3～4年次	
理論	デジタル情報環境論	半期2単位	2～4年次	
技法	デジタル情報環境分析	半期2単位	2～4年次	
実践	デジタル情報環境実習	半期2単位	3～4年次	
理論	ソーシャルメディア論	半期2単位	2～4年次	
技法	ソーシャルメディア分析	半期2単位	2～4年次	
実践	ソーシャルメディア実習	半期2単位	3～4年次	
	メディア社会学特講（設計）	半期2単位	4年次	
	特殊講義	半期2単位		

履修モデル

図3-1には、メディア社会学科を卒業するために、各科目群からどのように単位を修得すればよいかを例示した。履修計画を立てる際に参考にしてください。

図3-1 メディア社会学科を卒業するまで（単位修得パターンの例示）

卒業するには		学部共通		ゼミ		学科別カリキュラム		その学年で修得する単位数	
総合科目を30単位 → 基礎演習・視野形成科目（B群4単位含む）・情報教育基礎・保健体育科目・外国語 学科専門科目を74単位 → 入門科目・学科共通基礎科目・学科共通展開科目・コース専門科目と演習1～3 自由選択科目を最低20単位 → 総合科目・所属学科専門科目の修得単位のうち卒業要件単位数を超過した分は自由選択科目となる → 外国語教育プログラム科目・他学科専門科目も自由選択科目となる → 公開科目・グローバル教育センター設置科目・教職教科に関する科目の一部も自由選択科目となる 合計124単位以上を修得									
1年次	必修 Basic English 1-I・II 2単位 必修 諸外国語初級 A・B 4単位 必修 スポーツ総合 1-I・II 2単位 選必 視野形成科目 10単位 情報教育基礎科目 4単位 計 22単位	基礎演習 I・II 4単位 計 4単位	選必 入門科目 8単位 選必 1年次履修可能な学科共通基礎科目 6単位 計 14単位					総合科目 26単位 学科専門科目 14単位	
2年次	必修 Basic English 2-I・II 2単位 情報教育基礎科目 2単位 外国語教育プログラム科目 - 計 4単位	演習 1 4単位 計 4単位	選必 学科共通基礎科目 8単位 選必 コース専門科目 16単位 学科共通展開科目 2単位 計 26単位	6単位を 学科共通展開科目、 情報教育基礎科目、 外国語教育プログラム等でプラス				総合科目 4単位 学科専門科目 30単位 プラス 6単位	
3年次	外国語教育プログラム科目 計 -	演習 2 4単位 計 4単位	選必 コース専門科目 4単位 学科共通展開科目 / 他コース理論科目 14単位 計 18単位	18単位を 学科専門科目、 外国語教育プログラム、 他学科の専門科目等でプラス				学科専門科目 22単位 プラス 18単位	
4年次	外国語教育プログラム科目 計 -	演習 3 8単位 計 8単位	学科共通基礎科目 - コース専門科目 - 学科共通展開科目 - 計 -	40単位以内で 学科専門科目、 外国語教育プログラム、 他学科の専門科目等をプラス				学科専門科目 8単位 プラス 40単位まで	
								「プラス」の単位数が自由選択科目の単位となる	総合科目 30単位 学科専門科目 74単位 プラス 20～64単位

図3-2～図3-4には、メディア社会学科カリキュラムで提供される科目によってどのような能力が身につく、将来とどう結びつくのかをイメージしやすくするため、「卒業後のキャリア」と科目履修との典型的な結びつきを例示してある。卒業後をイメージして履修しよう。

図3-2 履修モデル：メディア制作者を目指す

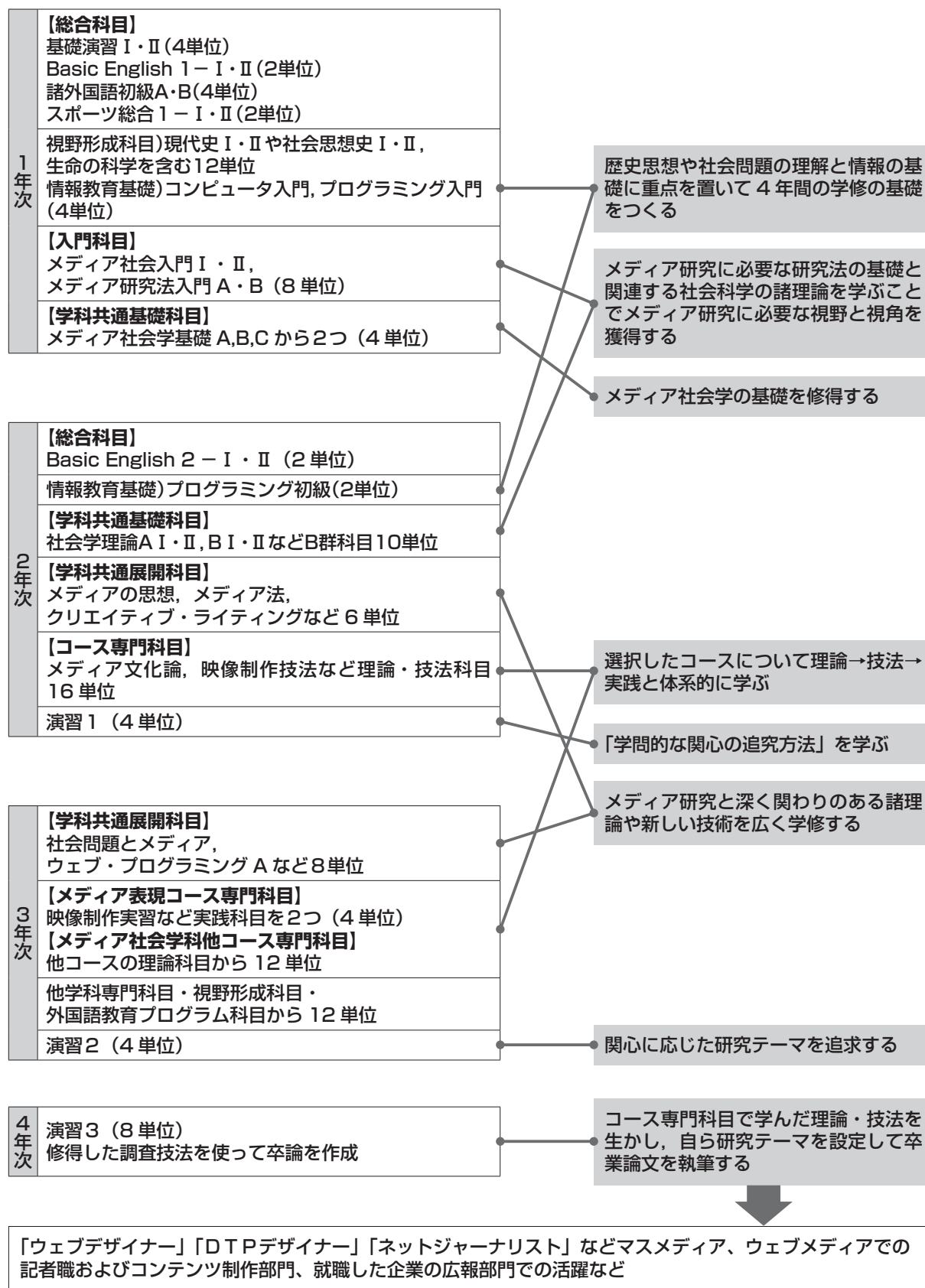


図3-3 履修モデル：メディアのデータサイエンティストを目指す

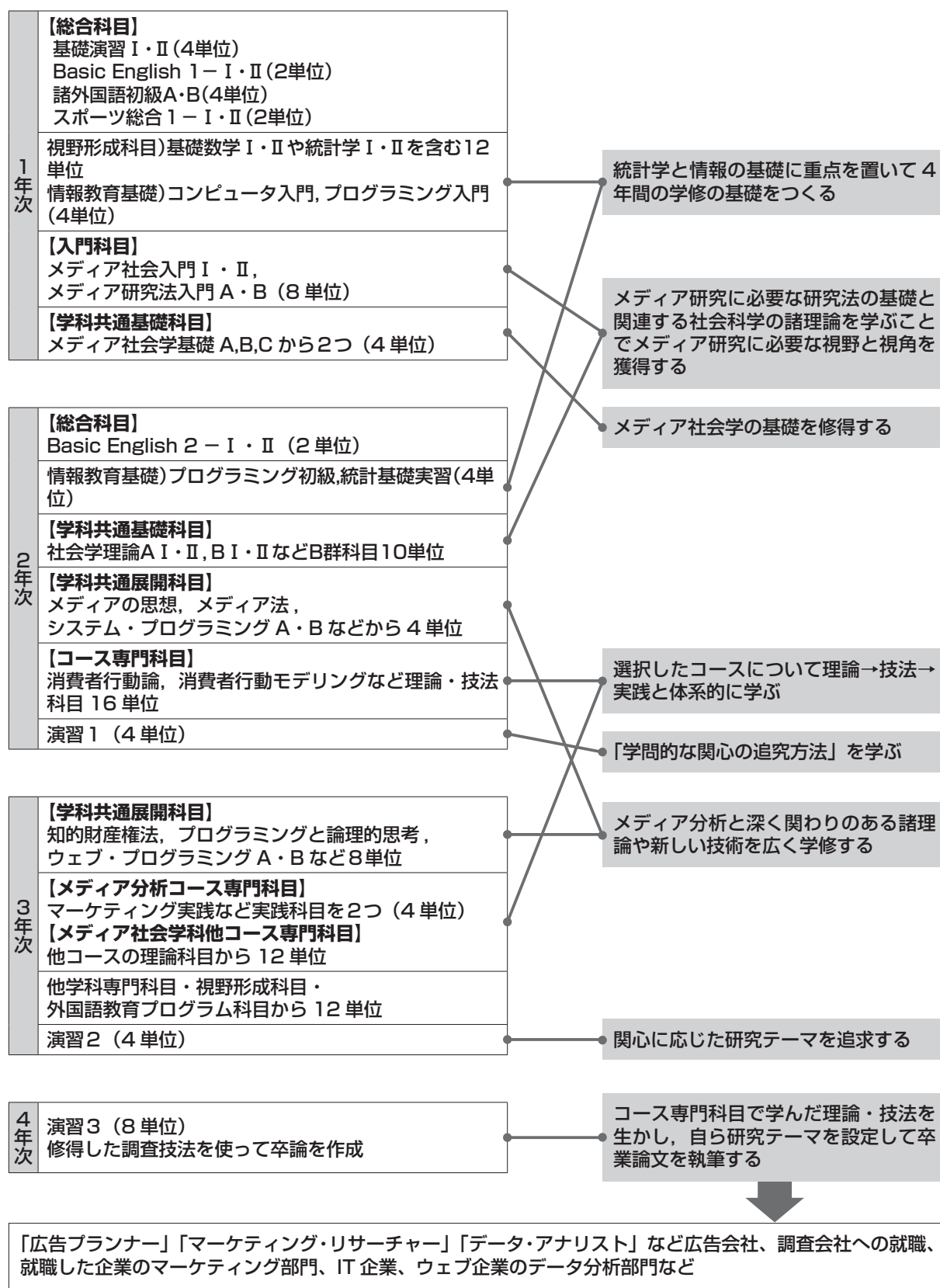


図3-4 履修モデル：ウェブの開発者を目指す

